

皮膚科学講座

A 欧 文

A-a

1. Takenaka M, Tanaka Y, Anan S, Yoshida H, Ra C: High affinity IgE receptor-mediated prostaglandin E2 production by monocytes in atopic dermatitis. *Int Arch Allergy Immunol* 108: 247-253 (1995)
2. Tanaka Y, Takenaka M, Matsunaga Y, Okada S, Anan S, Yoshida H, Ra C: High affinity IgE receptor (FcεRI) expression on eosinophils infiltrating the lesions and mite patch tested sites in atopic dermatitis. *Arch Dermatol Res*, 287: 712-717 (1995)
3. SHIMIZU Kazuhiro, TORIYAMA Fumi: The expression of placental-type glutathione S-transferase (GST-π) in human cutaneous squamous cell carcinoma and normal human skin. *Virchows Archiv*, 425: 589-592 (1995)
4. ZHANG Hui-Min, MAEDA Keisuke, TANAKA Yoichi, ANAN Sadao, YOSHIDA Hikotaro: CD23 positive circulating B lymphocytes related with serum IgE levels, and increased in atopic dermatitis. *日皮アレルギー*, 3(2): 411-418 (1995)
5. SHIMIZU Kazuhiro, TORIYAMA Fumi, ZHANG Hui-min, YOSHIDA Hikotaro: The expression of placental-type glutathione S-transferase (GST-π) in human cutaneous carcinoma in situ, that is, actinic keratosis and Bowen's disease, compared with normal human skin. *Carcinogenesis*, 16 (10): 2327-2330 (1995)
6. WAKAYAMA Eiko, TANAKA Yoichi, MAEDA Keisuke, YOSHIDA Hikotaro, ANAN Sadao, ARIYAMA Akinori: Food-dependent exercise-induced anaphylaxis: a case report. *日皮アレルギー*, 3(3): 190-193 (1995)

B 邦 文

B-a

1. 篠田英和: シイタケ皮膚炎20例の臨床的検討、武雄杵島臨床医学誌, 5(1): 21-26 (1995)
2. 山本窓嗣: アレルギー相談室Q&A オゾン発生器を利用したダニの防除対策について、アレルギーの臨床、15(1): 61 (1995)
3. 宿輪哲生: グルタルアルデヒドの外用と液体室素凍結療法により著効がみられた尖圭コンジローム、西日皮膚、57(1): 47-51 (1995)
4. 田中洋一: アレルギー相談室Q&A アトピー性皮膚炎における好酸球浸潤の意義について、アレルギーの臨床、15(2): 138 (1995)
5. 堀 真: アンケート特集 非ステロイド系抗炎症外用剤の使い方—私はこう思う—: 効いているのかなあ?……、皮膚病診療、17(3): 308-309 (1995)
6. 久保容二郎: 毒蛾皮膚炎、皮膚病診療、17(3): 292-295 (1995)
7. 篠田英和、西本勝太郎、本間喜蔵: 陰囊白癬11例の臨床的検討、西日皮膚、57(2): 272-277 (1995)
8. Am-80軟膏臨床研究会 石橋康正他(吉田彦太郎、塚崎直子): Am-80軟膏の乾癬に対する有効性の検討—吉草酸ベタメタゾン軟膏との左右比較試験(第III相試験)、臨床医薬、11(4): 733-746 (1995)
9. Am-80軟膏臨床研究会 石橋康正他(吉田彦太郎、田中敬一): Am-80軟膏の乾癬および掌蹠膿疱症に対する臨床効果の検討(第III相試験)、臨床医薬、11(4): 747-759 (1995)
10. 浜崎洋一郎、植木宏明: 帯状の配列を示した reticulohistiocytosis、臨皮、49(4): 349-351 (1995)
11. 分山英子、田中洋一: I. 最近話題の疾患、Food-dependent exercise-induced anaphylaxis、臨床皮膚科、49(5増): 22-25 (1995)
12. TBX 研究班 吉田彦太郎、久木田淳、原田昭太郎、川島真、山本昇壯、中島光好(岡田茂): アトピー性皮膚炎に対する TBX の臨床評価—トラニラストを対照薬とした二重盲検比較試験—、臨床医薬、11(5): 1049-1065 (1995)
13. 松岡一忠、塚崎直子、吉田彦太郎: In vitro における Polychlorinated Biphenyls (PCBs) および 2, 3, 4, 7, 8-pentachlorodibenzofuran (PCDF) 毒性軽減の検討(第3報) 細胞賦活剤および高脂血症用剤の細胞毒性に与える影響、福岡医学雑誌、86(5): 197-201 (1995)
14. 田中敬一、塚崎直子、吉田彦太郎、入船弘子、渡辺雅久、谷村義則: 皮脂、血液中 Polychlorinated Biphenyls (PCBs) Polychlorinated Quaterpheylys (PCQs) 濃度の比較検討—1992, 1993年の比較—、福岡医学雑誌、86(5): 202-206 (1995)
15. 塚崎直子、吉田彦太郎、入船弘子、渡辺雅久、田中敬一: Polychlorinated Biphenyls (PCBs) のポリフィリン代謝に及ぼす影響—PCBs 1 回大量投与によるマウス実験的ポリフィリン症の検討—、福岡医学雑誌、86(5): 207-211 (1995)
16. 塚崎直子、岡田茂、吉田彦太郎: 特集: ポルフィリン症 強皮症と晩発性皮膚ポルフィリン症との合併、日本臨床、53(6): 1463-1467 (1995)

17. 田中敬一、吉田彦太郎、入船弘子：特集：ポルフィリン症 ポルフィリン症の実験モデル、日本臨床, 53(6)：1507-1512 (1995)
18. 吉田彦太郎、原田昭太郎、川島真、山本昇壯、久木田淳(前田啓介)：TBX錠のアトピー性皮膚炎に対する臨床評価—用量設定試験—、西日皮膚, 57(4)：845-855 (1995)
19. TBX研究班(九州地区) 吉田彦太郎(伯川純一、大野まさき、長戸紀)：TBXのアトピー性皮膚炎に対する長期服用試験、臨床医薬, 11(8)：1739-1752 (1995)
20. 荒田次郎ほか(吉田彦太郎、伯川純一、前田啓介)：潜在性化膿性疾患に対する azithromycin の用量設定試験成績、日本化学療法学会雑誌, 43(9)：836-850 (1995)
21. TS-410研究班(吉田彦太郎、田中敬一)：TS-410外用剤の至適濃度設定に関する臨床的検討—第II相臨床試験—、臨床医薬, 11(9)：1877-1898 (1995)
22. 中島由起子、田中敬一、山之内寛嗣、西本勝太郎：尋常性乾癬に対するタカルシトール軟膏(ボンアルファ軟膏[®])の使用経験、西日皮膚, 57(5)：1070-1073 (1995)
23. 宿輪哲生、島崎浩二：活性型ビタミン D3(Tacalcitol)軟膏が奏功したと思われた毛孔性紅色靴擦れの小児例、西日皮膚, 57(5)：953-957 (1995)
24. TS-410研究班(吉田彦太郎、竹中基)：0.1% TS-410軟膏およびクリーム of 左右比較試験による臨床的有用性の検討—0.12% betamethasone 17-valerate との比較試験—、臨床医薬, 11(10)：2179-2211 (1995)
25. 荒田次郎ほか(吉田彦太郎、山本憲嗣、長戸紀)：潜在性化膿性疾患に対する azithromycin と cefaclor の二重盲検比較試験成績、日本化学療法学会雑誌, 43(11)：1069-1087 (1995)
26. 前田啓介：糖尿病性壊疽に対するユーパスタコワの著効例、Medical View Points, 16(12)：5 (1995)
27. 阿部陽子、田中洋一：クリオグロブリン血症の1例、アレルギーの臨床, 15(13)：945-947 (1995)

B-b

1. 田中洋一：アトピー性皮膚炎と炎症、Current Insight in Allergy, 11(2)：11-13 (1995)
2. 阿南貞雄：各科におけるアレルギー疾患診断の実際アトピー性皮膚炎、アレルギー, 42：26-29 (1995)
3. 阿南貞雄：アレルギー疾患の新しい知識—鼻アレルギーと皮膚疾患の治療をめぐって—：薬物療法以外の治療—アトピー性皮膚炎の増悪因子とその除去対策—、Medicament News, 1470号：15-16 (1995) 3. 25発行
4. 西間三馨、奥田稔、三河春樹、吉田彦太郎：座談会：アトピー性疾患の増加をめぐって—小児における問題点、成人のアトピー性疾患との関連性—、呼吸, 14(4)：365-376 (1995)
5. 前田啓介、吉田彦太郎：アトピー性皮膚炎の成因 —アレルギーの立場から—、小児内科, 27(5)：625-630 (1995)
6. 阿南貞雄：環境整備—特集 アトピー性皮膚炎、Medico, 26(7)：11379-11381 (1995)
7. 阿南貞雄：特集 小児のアレルギー疾患 II 疾患の概説(2)アトピー性皮膚炎の治療と看護、小児看護, 18(7)：835-840 (1995)
8. 宮本昭正、奥田稔、吉田彦太郎：アレルギー性疾患—皮膚科領域アレルギーの場における活性酵素の功罪、In Allergy, 1(9)：2-7 (1995)
9. 久保容二郎、吉田彦太郎：昆虫による接触皮膚炎、アレルギーの領域, 2(9)：62-66 (1995)
10. 阿南貞雄：特集 アレルギー検査法1【検査の実際 in vivo】皮膚テスト パッチテストの手技とその評価、アレルギーの領域, 2(10)：1289-1292
11. 吉田彦太郎：局所療法の立場から (2) 皮膚科から、気管支喘息のステロイド療法—進歩と展望—(第15回六甲カンファランス)、pp.106-112 (1995)
12. 鳥山史：皮膚疾患から出た悪性腫瘍慢性放射線皮膚炎、The Skin Care, 57：6-9 (1995)
13. 久保容二郎：毛虫(毒蛾)皮膚炎、THE SKIN CARE, 58：12-15 (1995)
14. 久保容二郎：虫と皮フ、皮フの手帖, 2：18-23 (1995)
15. 久保容二郎：洗顔について、皮フの手帖, 4：26-31 (1995)

B-c

1. 田中洋一：アトピー性皮膚炎と免疫学的所見、日本皮膚科学会前実績研修講習会必須Bコーステキスト(日本皮膚科学会専門医制度委員会刊)、pp.1-7 (1995)
2. 吉田彦太郎、阿南貞雄：アトピー性皮膚炎、NHK ブックス 環境問題としてのアレルギー、伊藤幸治編(日本放送出版協会、東京) (1995)、pp.141-178
3. 田中洋一：主要疾患—現況・病態・診断・治療：アトピー性皮膚炎、免疫疾患—state of arts (医学のあゆみ別冊) 第1版、今西二郎ほか編(医歯薬出版、東京) (1995)、pp.455-457

B-d

1. 篠田英和：症例診断クイズーあなたの診断は？ 頭部浅在性白癬、武雄杵島臨床医学誌、5(1)：61-62 (1995)
2. 阿南貞雄：アトピー性皮膚炎、第3回大分アレルギー講習会プログラム、(1995)
3. 田中洋一：アトピー性皮膚炎と好酸球、長崎市医師会報、339：9-11 (1995)
4. 山本憲嗣、岡田茂、竹中基、松下泰三、前田啓介、田中洋一、阿南貞雄、吉田彦太郎：ダニ抗原貼布試験の標準化、厚生省アレルギー総合研究事業総合研究報告書, pp.193-197 (1995)
5. 田中洋一：アトピー性皮膚炎と好酸球、長崎県病薬会誌、39：22-30 (1995)
6. 前田啓介：アレルギー性皮膚疾患、田川医報、91：26-27 (1995)
7. 山本憲嗣、岡田茂、竹中基、松下泰三、前田啓介、田中洋一、阿南貞雄、吉田彦太郎：ダニ抗原貼布試験の標準化、平成6年度厚生省アレルギー総合研究事業研究報告書, pp.146-148 (1995)

原著論文数一覧

	A-a	A-b	A-c	A-d	合計	SCI	B-a	B-b	B-c	B-d	合計	総計
1995	6	0	0	0	6	4	27	15	3	7	52	58

学会発表数一覧

	A-a	A-b		合計	B-a	B-b		合計	総計
		シンポジウム	学会			シンポジウム	学会		
1995	0	0	7	7	18	7	83	108	115

原著論文総数に係る教官生産係数一覧

	欧文論文総数 (論文総数)	教官生産係数 (欧文論文)	SCI掲載論文 欧文論文総数	教官生産係数 (SCI掲載論文)
1995	6.00	0.75	4.00	0.50

Impact factor一覧

	Impact factor	1教官当りImpact factor	論文当りImpact factor
1995	7.248	0.906	1.208